

■16.06.20第1回「COOL CHOICE推進チーム」会合  
持続可能な未来の実現に向けて  
3つの提案

崎田裕子 ジャーナリスト・環境カウンセラー

NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット理事長

NPO法人 新宿環境活動ネット代表理事

## 崎田裕子 自己紹介



▲NPO法人元気ネット  
「みんなで作る持続可能な  
オリンピック・パラリンピック」  
を提唱



▲NPO法人新宿環境活動ネット  
新宿区立環境学習情報センター  
指定管理者として参加型運営

- 立教大学社会学部産業関係学科 卒業 (1974)
  - 11年の出版社勤務を経て、ジャーナリストに (1985～)
  - 環境省登録 環境カウンセラー (1996～)
  - NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長 (2001～)
  - NPO法人新宿環境活動ネット代表理事 (2003～)
  - 早稲田大学招聘研究員 (2005～)
- 環境・エネルギー分野を軸に持続可能なくらし・地域づくりに取り組む

### ■主な公職

- 環境省 「中央環境審議会」
- 経済産業省「化学物質審議会」「総合資源エネルギー調査会(臨)」
- 国土交通省「国土審議会」
- 東京都 「環境審議会」「都市計画審議会」「港湾審議会」

### ■東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

「街づくり・持続可能性専門委員会」委員

など

# 環境課題は「認知」と「行動」のギャップ

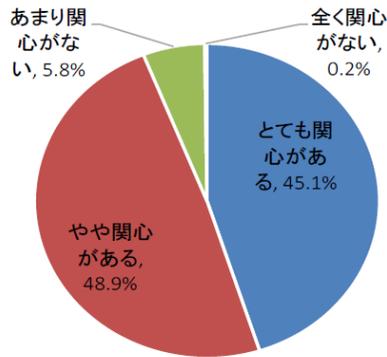
## 「環境配慮商品と消費行動の調査 結果」から

NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット実施 2014年10～12月全国466人対象

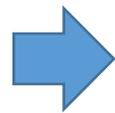
### 【Ⅱ. 環境について】

QⅡ-1. 地球温暖化、環境問題に関心がありますか

とても関心がある	210	45.1%
やや関心がある	228	48.9%
あまり関心がない	27	5.8%
全く関心がない	1	0.2%

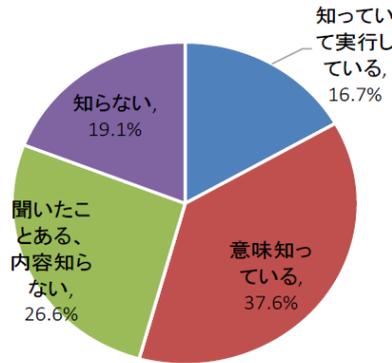


環境に関心がある人は94%もいるけれど



QⅡ-3. グリーン購入（環境にやさしい製品の購入）について知っていますか

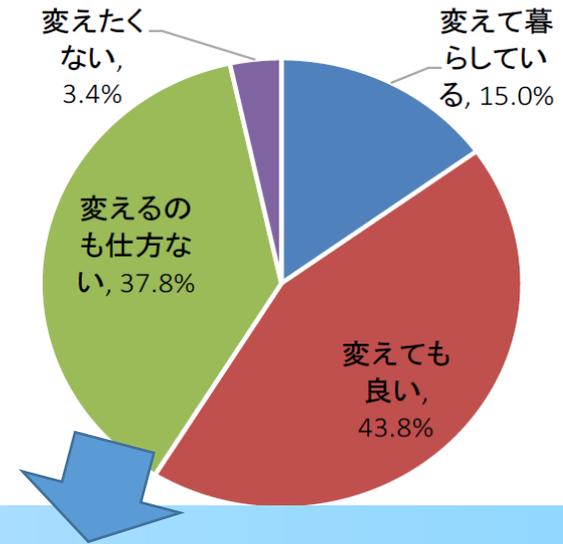
知っていて実行している	78	16.7%
意味知っている	175	37.6%
聞いたことある、内容知らない	124	26.6%
知らない	89	19.1%



環境にやさしい製品の購入を実行している人は16.7%だけ

QⅡ-10. 環境のためになるのであれば、現在のライフスタイルを変えてもよいと思いますか

変えて暮らしている	70	15.0%
変えても良い	204	43.8%
変えるのも仕方ない	176	37.8%
変えたくない	16	3.4%



★「認知」と「行動」のギャップは大きい。

ただし、「環境のためにライフスタイルを変えたくない」人は、たった3.4%。  
思い切った対策や社会システムがあれば、「COOL CHOICE」は定着する！

# 1. 新国民運動の提案 人生設計も「COOL CHOICE！」

結婚や子供の誕生をきっかけに、  
住宅・教育・病気・介護・老後などを考え、  
アドバイザーのライフプランを基に、  
保険に加入する人は多い。

それと同様に、結婚や子供の誕生契機に  
家電や車の買い替え、住み替えなどの  
「人生設計」を考え、  
省エネ・高効率の製品や  
断熱・再エネ型の住まい  
を選択する「COOL CHOICE  
プラン」を作成する  
新国民運動の定着を。

電気・熱・燃料など  
エネルギー  
使用量増加  
・  
光熱費増加

結婚を考えたら  
「COOL CHOICE  
ライフプラン」

20代

40代

60代

80代

くらしに根差した総合的なアドバイザー「COOL CHOICE！プランナー」など新しい人材育成を！

# どう実現する？

## 新国民運動の提案 人生設計も「COOLCHOICE！」

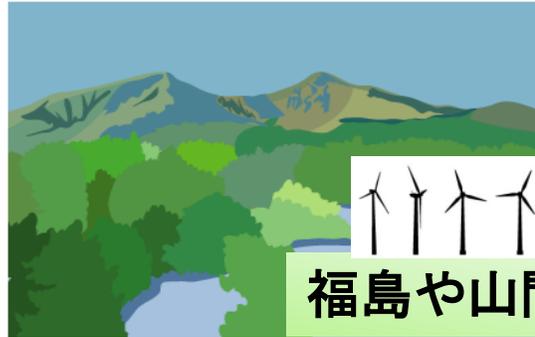
### ①既存の仕組みをパッケージ化

- 「家庭エコ診断」の総合化
  - ➡「COOL CHOICE！プランナー」
    - ・くらしに根差した、総合的なアドバイス人材の育成
- 「COOL CHOICE！ライフプラン」
  - ➡結婚式場・住宅展示場・家電モデルルーム・金融機関等の新ビジネス創出につなぐ

### ②新しいシステム導入を検討

- 「COOL CHOICE！ポイント」
  - ➡低炭素型人生設計を考え、実行する人へのインセンティブがあれば、広く定着が可能
  - ➡指定された低炭素製品の購入に応じて、ポイント付与。  
低炭素製品購入の際に使用可

# 2. 東京2020「COOL CHOICE」応援隊の募集提案



福島や山間部から

再生可能エネルギーの蓄電  
等によるCO2フリー水素供給



バス&自動車用  
水素ステーション整備  
電気自動車充電設備



空港⇄東京・  
競技会場結ぶ  
リムジンバス



「次世代エネルギー  
普及啓発・  
2R行動・  
資源分別行動・  
クリーンエイド」等  
推進に向けた  
高校・大学生  
シニア世代の  
応援隊を組織し  
2020に向けた  
ボランティア  
研修を広げる



選手村も  
燃料電池や  
省エネ家電

競技施設内外

3R実践に向けた  
ボランティア人材  
育成を検討中。  
「COOL CHOICE」  
国民運動を広げる  
担い手との連携を

2020年きっかけ  
に持続可能な  
暮らし・地域づくり  
めざして

東京2020のレガシーは「COOL CHOICE！」

# どう実現する？

## 東京2020「COOL CHOICE」応援隊

●東京2020オリンピック・パラリンピックでの再エネ・省エネ・燃料電池など最新技術、2Rと資源分別などを、「市民参加」で広げる人材育成



高校・大学生やシニアの「COOL CHOICE」への「参加・共創」意識を醸成

- 環境学習拠点やNGO、事業者が連携し「東京オリンピック・パラリンピック「COOL CHOICE」応援隊(仮)」等を組織
- 組織委員会や東京都が募集する「10万人規模のボランティア」を対象に、環境・エネルギー対策に関する研修を担当
- 開催時には東京2020の環境対応などを世界に発信する役割を
- 開催後は経験をレガシーとして、自分のくらしの場で実践・継続する

### 3. 全国と地域をつなぐ情報共有の仕組み強化を

全国 地球温暖化防止活動推進センター

➡全国環境パートナーシップオフィスの活用も検討を



都道府県 地球温暖化防止活動推進センター

➡地方環境パートナーシップオフィスの活用も検討を



- 地域の「COOL CHOICE」行動に関する情報提供と連携事業は市区町村が設置する「環境学習施設」を拠点として活用を。
- 地域・学校・企業の連携による“体験活動”を重視し、市民の“主体的な参加意欲醸成”し、実践行動をくらし・地域へ定着

# 事例：新宿区立環境学習情報センター（指定管理者 NPO法人新宿環境活動ネット）

## 地域・学校・企業の連携と参加意欲の醸成で、実践行動をくらし・地域へ定着



50を超える区民・企業・団体が連携し、地域と学校をつなぐ「まちの先生見本市」を開催

8年間に5537人の“うりとも”の環。くらしや地域に定着



春の説明会で育て方を知る



ゴーヤサロン

初夏のサロンで悩み解決！

冬は素晴らしい取り組みをエコワングランプリで褒めあう！

年間つなぐ事業づくり



秋は土のリサイクルや生ごみたい肥教室も



夏はゴーヤの料理教室

### みどりいろの新宿

▲環境絵画コンテスト H25年度区長賞  
柏木小学校6年 鈴木和果奈さんの作品



# 市民・事業者・行政の連携による 持続可能な未来の実現に向けて